

歳入

平成30年度、歳入総額92億7323万円。前年度比、28・0%の減。

ふるさと納税寄附金が大幅に伸びたものの投資的経費の大幅減に伴い、地方債、国庫支出金、都道府県支出金が減となるほか、合併算定替による普通交付税の減などにより、一般財源総額が減額となっている。

また、これらの減額については、たばこ税や固定資産税の減も要因のひとつとなっている。

■町税

8億4021万円

町税の概況として、たばこ税を除いた状況は、前年より減額となっている。この主な要因は、法人町民税および固定資産税の減によるもの。

■地方交付税

・収入済額

40億7972万円

前年度比7412万円の減。

■国庫支出金

8億3073万円

前年度比3億3350万円の減。

補助事業の減少などによるもの。

■繰入金

・収入済額

3億8391万円

前年度比9億6740万円の減。

減少の主なものは、基金繰入金で、昨年度は基金を9億5940万円余り繰り入れし、地方債の繰り上げ償還に充てたことによるもの。

○ふるさと納税寄附金

2億5726万円

■県支出金

8億9276万円

前年度比3億3331万円の減。



かつおのタタキや文旦もふるさと納税返礼品で活躍中！

■町債

10億4653万円

前年度比16億1230万円の減。

新庁舎建設等に伴う総務管理債や都市整備事業債の減少、佐賀保育所の完成により児童福祉債が減少したことが主な要因。

【主なもの】

・防災対策事業債

3億1180万円

・臨時財政対策

1億9502万円

・道路整備事業債

1億3480万円



伊与喜小学校そばに建設された新佐賀保育所